

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第128日

「暖簾の行為」 ウクライナ軍はズミヌイ(蛇島)島からロシアの部隊を撤退させられて、戦い戻してました。戦争の最初の日に、ウクライナの軍人が「ロシアの軍艦よ、くたばれ！」という警告に応えたことを覚えていますか？これは、ロシアの軍艦に攻撃され、4か月以上占領されていた蛇島で発生しました。島は小さいですが、ロシアが武器のサプライチェーンを保護し、防空システム、電子戦、無線情報ユニットを配備することを可能にしたため、戦略的に重要です。善意の行為として、ロシア国防省は、ウクライナ軍による数日間の攻撃の後、島からの軍隊の撤退を呼びかけました。夜間、ウクライナ軍のミサイルと砲兵部隊が組織的に島を砲撃したため、ロシア人は2隻のスピードボートで駐屯軍の残党を急いで避難させたため、ロシア軍は一日の終わりに結局攻撃で沈んだ軍艦と同じ方向へ向かうことになりました。

査証免除入国にさよなら 本日7月1日から、ウクライナに入国するロシア人はビザが必要になります。何年にもわたる両国間のビザ免除制度が続いた後、ウクライナはロシアのパスポート所持者に対し査証制度を導入しました。この決定は、ゼレンスキー大統領と政府が戦争中に提出されたビザの導入に関する請願を検討した後に発効しました。請願書は、大統領の検討に必要な25,000の署名を集めました。在ロシアウクライナ大使館と領事館は、ロシアの侵略が始まって以来閉鎖しているため、今のところ、ロシア人が合法的にウクライナに入国するのは簡単なことではないようです。

非オリガルヒ化 ゼレンスキー大統領は2022年6月29日付けのウクライナ国家安全保障・国防会議の「公的生活において多大な経済的・政治的な重要性を有する者(オリガルヒ)の登録に関する規則の承認についてその形成および維持の手順」決定に署名しました。したがって、規則はオリガルヒ登録の導入と維持の手順を決定します。

攻撃中の都市 夜、ロシアのミサイルがオデーサ州の小さなリゾートタウンにある9階建ての住宅と療養所を攻撃しました。その結果、少なくとも18人が死亡し、4人の子供と妊婦を含む31人が負傷し、3人の子供を含む8人が瓦礫の中から救出されました。スームイ州の国境沿いコミュニティの砲撃は続いています。昨日のお昼に、ロシア人はビロピルスカコミュニティを20発の迫撃砲で砲撃しました。また、チェルニーヒウ州の国境コミュニティの定期的な砲撃も続いています。ルハンシク州では、ロシア軍がウクライナ軍を取り囲もうとしていて、南と西からリシチャンシク市を攻撃しています。占領者はバクムト市への道路を占領することに失敗しました。多くの住宅とインフラ施設を含めて市の砲撃は非常に密集しています。ドネツク州では、1日で40の建物が損傷しました。これには、9つの民間住宅、4つの高層ビル、工業用オブジェクト、および重要なインフラストラクチャオブジェクトが含まれます。4人の一般市民が殺され、18人が負傷しました。

6月27日にロシア連邦からのミサイル弾の発射を受けたクレメンチュクの「アムストル」ショッピングセンターでの解体瓦礫作業中に、28人の遺体の破片が発見され、18人の死者も確認されました。

占領下の都市 ヘルソン州では、ベルスラフスキー地区とカホフスキー地区の村、近くのムィコラーイウ州の集落も、戦闘が続いているために完全に破壊される危機に瀕している住宅が段々と増えてきています。一軒一軒の家が被害を受けている村がたくさんあり、人は完全にいくつかの集落を去っています。多くの村では、畑や道路には地雷があり、すべての交通機関が盗まれ、店や薬局は機能せず、年金を受け取る方法がありません。

州と共同機関の職員に対する自称ロシア当局による圧力の高まりは記録されています。目標は、「ルーブルゾーン」への移行を確実にするために、企業や機関の再登録を強制することです。目標は、「ルーブルゾーン」への移行を確実にするために、企業や機関の再登録を強制することです。同時に、7月1日、ロシアの占領者はウクライナの銀行の閉鎖に続いてウクルポシタ(ウクライナの郵便局)を閉鎖しました。したがって、多くの年金受給者はウクライナの年金を受け取ることができません。占領下の地域にとどまることに決めた市民は、希望と関係なくルーブルで給料を受け取るように強制されています。さらに、パスポートと引き換えに、低所得者と年金受給者に現金で10,000ルーブルを受け取ることがオファーされています。

沿ドニエストル共和国 ロシア軍に男性を採用するためのキャンペーンが沿ドニエストル共和国で実施されました。ウクライナの諜報機関によると、モルドバのロシア支配下のトランスニストリア地域で、ロシア軍との契約に署名するよう男性を説得するキャンペーンが進行中です。

人権。アムネステイインターナショナルは、マリウポルのドラマ劇場への攻撃中にロシアの戦争犯罪の新しい証拠を集めました。新たに発表された調査報告書は、52人の生存者と目撃者からの証言を提示し、攻撃の直前と直後に撮影された衛星画像とレーダーデータも分析しました。捜査官は、何百人もの民間人がそこに隠れていることを知って、ロシア軍が劇場を標的にしたことを確信しています。

ロシアの侵略者は、マリウポルの国連人道組織へのアクセスを許可していません、とウクライナの国連常駐コーディネーター兼人道コーディネーター、オスナト・ブルニさんは言います。また、国連の代表者は、政府が管理していない地域へのアクセスに課せられた不安や障害のために、救援物資を届けたり、カーソンにアクセスしたりすることができませんでした。

欧州連合はその声明の中で、民主的に選出されたカーソン・イホル・コリハイエフ市長が侵略したロシア軍によって誘拐されたことを非難し、彼の即時かつ無条件の釈放を求めました。また、EUは、ロシア連邦への加盟に関して、ケルソン地域の一部での違法な偽の「レファレンダム」の発表された準備を非難し、それを国際法、ウクライナ憲法、およびクレムリンとその代理人によるウクライナの主権の露骨な違反と呼びました。

侵略者は拷問を利用して、ザポリジヤ原子力発電所の従業員に冷却プールを排水させます、とエネルギーアトムは言います。ロシア人は拷問と虐待を利用して、ザポリジヤ原子力発電所の油圧ワークショップの従業員に、これらの冷却プールを排水する正当な理由を考え出すように強制します。特に、ロシア軍はザポリジヤ原子力発電所の油圧ワークショップのダイバーを激しく打ち負かしました。犠牲者は

2022年6月29日に複数の負傷者を出してエネルホダールの病院に運ばれました。

[欧州人権裁判所](#)は、最近ロシア軍に降伏したウクライナ軍のメンバーである2人の英国人に関して、ピナー対ロシアとウクライナ、アスリン対ロシアとウクライナの場合に暫定措置を与えることを決定しました。敵対行為であり、それ以来、いわゆる「ドネツク人民共和国」(DPR)で死刑を宣告されています。裁判所は、特にロシア連邦政府に、申請者に課せられた死亡ペナルティが実行されないようにするべきであると示した。彼らの拘留の適切な条件を確保します。必要な医療支援と投薬を彼らに提供します。

強制移行。[国際移住機関\(IOM\)](#)の最新のレポートによると、550万人以上の避難民がウクライナに戻ってきましたが、内部避難者(IDP)の総数は620万人を超えています。2月24日以降、戦争のために家を出ていた人々の約半数が、特に国の北部と首都のキエフに戻ってきました。

サイバーセキュリティ。戦略文書では、NATO加盟国は、サイバー攻撃に迅速に対応するための新しいプログラムを作成することに合意しました。イニシアチブの「仮想高速応答サイバー機能」は、戦争の一環としてウクライナで数か月にわたるロシアのサイバー攻撃が行われた後、モスクワがウクライナへの支援に対する報復として米国や他のNATO諸国を標的にする可能性があるという懸念の中で行われたと[Politico](#)は報告しています。

教会。[リヴィブ市議会](#)は、先月までモスクワと直接提携していたモスクワ総主教区の教会を禁止した最初の人物となりました。

文化。[チェコ共和国](#)は、ウクライナの文化遺産の保存と再建を支援する専門家チームを組織したいと考えていると、文化大臣のマーティン・バクサは水曜日にリヴィブで開かれた会議でカウンターパートに語りました。地方自治体が貴重なキリスト教のアイコンを含むマリウポル市の博物館からの約2,000の芸術作品の押収を報告したため、ロシア軍はすでにウクライナの遺産を略奪しています。貴重な遺物もメリトポールから盗まれました。

外交政策。[スウェーデン政府](#)は、ウクライナ向けの5番目の軍事援助パッケージを承認しました。したがって、スウェーデンは、アンチタンク兵器、支援兵器、およびキエフが要求したと述べている地雷除去装置を含む、追加の軍事支援をウクライナに送ることを計画しています。

6月30日、[ヨーロッパの都市と地域を代表する地域および協会の欧州委員会](#)は、ウクライナの地方および地域当局がロシアの侵略以来破壊された家、学校、インフラストラクチャ、およびサービスを再建するのを支援するために、ウクライナの再建のための都市および地域のための欧州同盟を立ち上げました。EUの支援を調整するために、現在欧州委員会とウクライナ政府によって作成されている「ウクライナ再建プラットフォーム」の一部を形成します。計画は7月4-5日にさらに具体化され、ウクライナの首相がスイスのルガノで開催される[ウクライナ復興会議](#)で政府の復興戦略を発表します。欧州連合評議会の次期チェコ大統領は、2022年末に予定されているウクライナ再建プラットフォームの立ち上げに先立ち、10月にウクライナの再建のニーズに焦点を当てた主要な会議を開催する予定です。デジタル化副首相兼地域開発大臣のイワン・バルトシュ氏は、ウクライナの再建はチェコ大統領の優先事項の一つであるが「ウクライナの安定は将来にとって極めて重要である」と述べました。

リトアニアは、ロシアに対するEU制裁の第4パッケージの条件を引き続き実施します。これは、制限が施行される7月10日から、他の商品のカリニングラード地域への輸送を停止することを意味します、とリトアニア・イングリダ・シモネテ首相は言います。「運送業者は、7月10日から制裁に関する特定のガイドラインが施行され、その日以降は貨物を積み込まないようになると通知された」と大臣は述べました。

マドリードでのNATOサミットの終わりに、[NATOの同盟国](#)は、ロシアの国境に沿ってより多くの軍隊を動員する能力を開発することを誓いました。

ダマスカスがルハンスクとドネツクの東部地域、いわゆるルハンスクとドネツク人民共和国の独立を認めた後、[ウクライナ](#)はシリアとの外交関係を断ち切りました。

ロシア連邦は、70人のスパイ外交官を追放する決定を取り消さない場合、外交関係を破ることでブルガリアを脅迫しました。

読書コーナー

- [International aid took too long to reach Ukraine. Here's why | openDemocracy](#)
- [Out of sight but not out of mind: The families of Ukrainian POWs wait for news – POLITICO](#)
- [A Ukrainian ballerina goes to war | The Economist](#)
- ['I'm a little surprised': Nato summit venue in Madrid serves 'Russian salad' | Spain | The Guardian](#)

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年7月1日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約35,750人、戦車1577台、装甲戦闘車両(APV)3,736台、砲兵システム796台、多連装ロケットシステム(MLRS)246台、対空戦システム105台、固定翼航空機217台、ヘリコプター186台、軽装甲車2,610台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV645台、特殊装備61台、移動式短距離弾道ミサイルシステム143台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [「Hospitallers」という医療大隊](#)を支援してください。「Hospitallers」は2014年からホットスポットで作業している救急医療ボランティア団体です。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- **PayPal**経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！ **Slava Ukraini**ウクライナに栄光あれ！